

VJ-1627MH デイリーメンテナンスシート

MUTOH
Creation, we make it happen...

デイリーメンテナンス

清掃時期:

- 1日の作業終了後 (必ずメンテナンスを行ってください)

必要なもの:

- (a) 専用メンテナンス液
- (b) クリーンスティック用カップ
- (c) クリーンスティック
- (d) ペーパータオル、またはポリニットワイパー
- (e) スポイト用カップ
- (f) スポイト
- (g) ビニール手袋
- (h) チャック付き袋
- (i) クリーンスティック

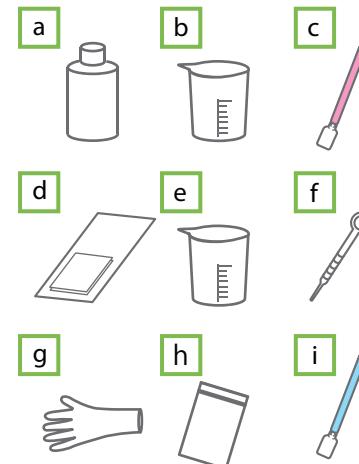
※ペーパータオルは付属のもの、または別売品のポリニットワイパーをご使用ください。

ティッシュペーパーは使用しないでください。紙から出る繊維や粉じんが、プリントヘッドの故障の原因となります。

※メンテナンス液は、専用のもの以外を使用しないでください。

清掃準備:

- ビニール手袋を着用します。



Important!



スポット用カップについて

- メンテナンス手順にスポットを使って、メンテナンス液を垂らすものがあります。ボトルからメンテナンス液を直接取ることができない場合に使用してください。
- 取り分けたメンテナンス液が余った場合は、ホコリが入らないようにビニール袋、ラップ等で覆って保管してください。

※メンテナンス液を垂らすときは、クリーンスティック用カップに取り分けたメンテナンス液は使用しないでください。

1. メンテナンス状態にする

1

プリンターをスリープモードにします。

☞ 取扱説明書「スリープモード」

- 「デイリーメンテナンス: Start」が表示されたら、[Enter]キーを押します。

デイリーメンテナンス: Start



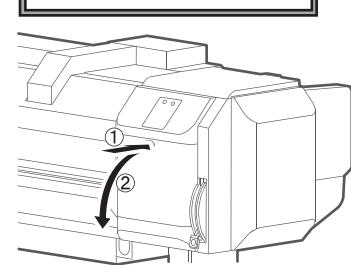
2

キャリッジが反対側に移動します。

- 「デイリーメンテナンス: End」が表示されたら、右側のメンテナンスカバーを開けて、取り外します。
- デイリーメンテナンスを行います。

※デイリーメンテナンス状態での作業時間の目安は、5分以内です。作業が長引くと、乾燥によりプリントヘッドの故障の原因となります。

デイリーメンテナンス: End



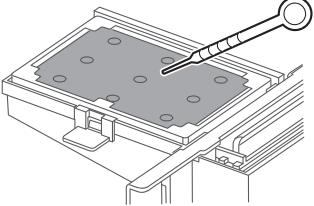
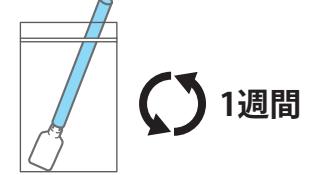
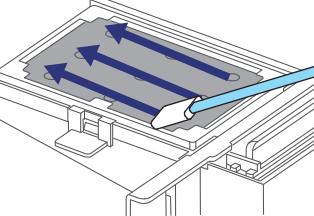
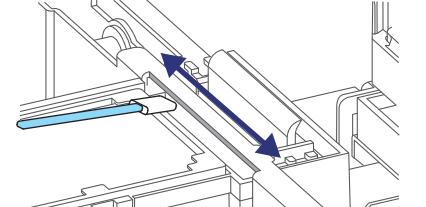
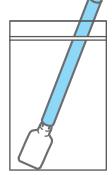
Important!

デイリーメンテナンスの注意事項について

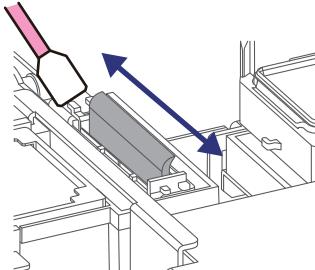
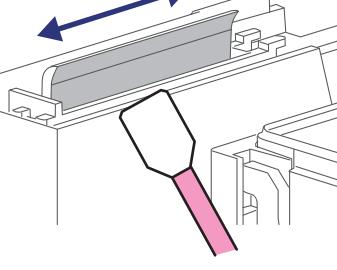
デイリーメンテナンスを行うときは、以下を守ってください。

- クリーニングワイパおよびヘッドキャップユニットには手を触れないでください。油脂が付着してヘッドクリーニングが正常に行えなくなる恐れがあります。
- プリントヘッド表面を指やクリーンスティックでさわらないでください。プリントヘッドの故障の原因となります。
- 必ずクリーンスティックを使用して、専用メンテナンス液に浸してから拭き取ってください。専用メンテナンス液以外で拭き取ると、プリントヘッドが目詰まりする原因となります。
- クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。

2. フラッシング吸収材を清掃する

<p>1</p> <p>スポットを使用して、メンテナンス液をフラッシングボックス吸収材全体に垂らします。</p> <p>使用量目安: 3.0 ml</p> <p>※クリーンスティック用カップに取り分けたメンテナンス液は使用しないでください。</p>	
<p>2</p> <p>フラッシング吸収材を清掃するクリーンスティックを用意します。</p> <p>Important! クリーンスティックの使用目安は1週間です。 1週間経過後、または付着したインクが取れなくなった場合は、新しいクリーンスティックに交換してください。</p>	
<p>3</p> <p>フラッシングボックス吸収材全体を拭き取ります。</p>	
<p>4</p> <p>インクのかたまりが堆積し、クリーンスティックを使っても取り除けない場合は、フラッシングボックス吸収材を交換してください。</p>	
<p>5</p> <p>フラッシングボックスとクリーニングワイパーとの間の部品のへりに付着したインクを拭き取ります。</p>	
<p>6</p> <p>清掃後、クリーンスティックは、チャック付きの袋に入れて保管してください。</p> <p>Important! クリーンスティックにホコリが付着しないように、袋のチャックをしっかりと閉めて保管してください。</p>	

3. クリーニングワイパーとキャップゴム外周を清掃する

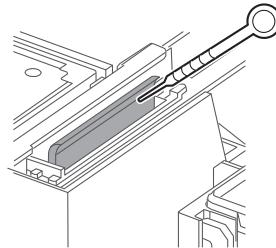
<p>1</p> <p>クリーニングワイパー、キャップゴム外周を清掃するクリーンスティックを用意します。</p> <ul style="list-style-type: none"> クリーンスティック用カップにメンテナンス液を30 ml注ぎ、クリーンスティックを浸します。 <p>Important!</p> <ul style="list-style-type: none"> クリーンスティックの使用目安は1週間です。 1週間経過後、または付着したインクが取れなくなった場合は、新しいクリーンスティックに交換してください。 専用メンテナンス液は、必ず1週間ごとに交換してください。 清掃中に、クリーンスティックが汚れた場合は、専用メンテナンス液に浸して、洗浄してください。 	
<p>2</p> <p>クリーンスティックを使用して、クリーニングワイパー（黒いゴム板）の左側面の汚れを拭き取ります。</p> 	
<p>3</p> <p>クリーニングワイパーの右側面の汚れを拭き取ります。</p> 	

4

スポットを使用して、メンテナンス液をクリーニングワイパー全体に垂らします。

使用量目安: 5.0 ml

※クリーンスティック用カップに取り分けたメンテナンス液は使用しないでください。

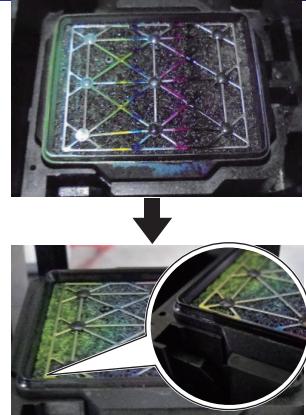
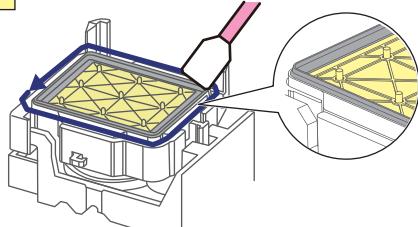


5

クリーンスティックを使用して、キャップゴム外周とキャップゴムのふちに付着したインクやホコリを拭き取ります。

清掃箇所

吸収材(黄色)には絶対に触れないでください。

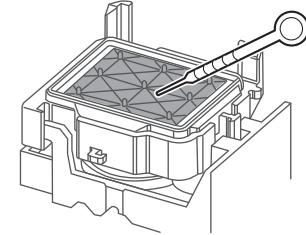


6

スポットを使用して、メンテナンス液をキャップ吸収材全体に垂らします。

使用量目安: 1.5 ml

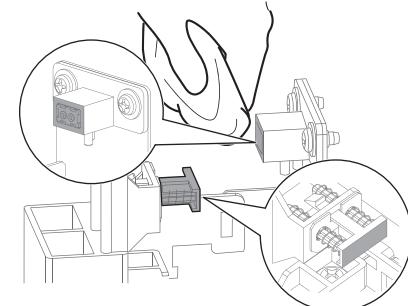
※クリーンスティック用カップに取り分けたメンテナンス液は使用しないでください。



7

ペーパータオルをメンテナンス液数滴で湿らせ、エアバルブ表面に付着したインクを完全に拭き取ります。

※メンテナンス液が直接手に触れないように、ビニール手袋を着用して作業を行ってください。



8

右側のメンテナンスカバーを取り付けて、閉じます。引き続き、プリントヘッド外周の清掃を行います。

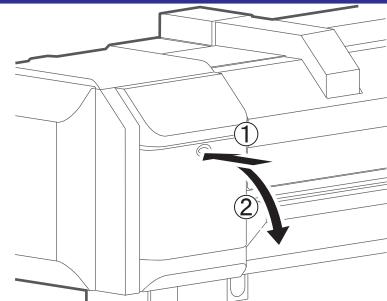


作業時間が5分を超える場合は、いったん作業を中止し、ノズルチェックを実行して、ノズル抜けがないことを確認してから、再度清掃作業を行ってください。

4. プリントヘッド外周を清掃する

1

左側のメンテナンスカバーを開けて、取り外します。



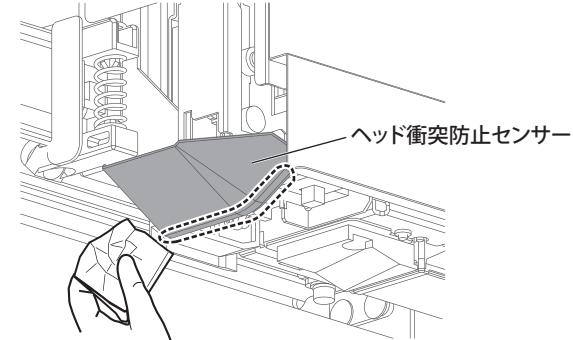
2

ヘッド衝突防止センサーの下面がインクで汚れていないか確認します。汚れている場合は、ペーパータオルをメンテナンス液数滴で湿らせ、付着したインクを拭き取ります。

※メンテナンス液が直接手に触れないように、ビニール手袋を着用して作業を行ってください。

※破損を防ぐため、センサーが上下に動かないように手で押させて、清掃を行うことをおすすめします。

※力を入れてセンサーの清掃を行わないでください。センサーの破損につながる恐れがあります。



3

キャリッジの下側に付着したインクやホコリを、クリーンスティックで清掃します。

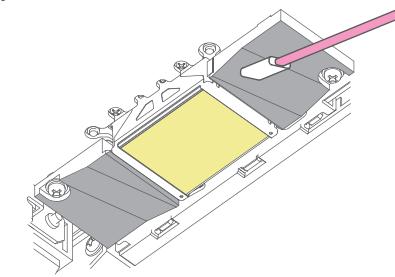
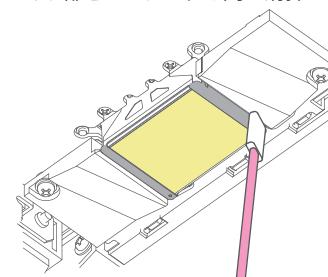
清掃箇所

ヘッド面(黄色)には絶対に触れないでください。

プリントヘッド外周(銀色の金属部分)

※ヘッドガイド部とヘッドのすき間も清掃してください。

ヘッドガイド部(黒色プラスチック)



4

プリントヘッド周辺がきれいになっているか確認します。



5

左側のメンテナンスカバーを取り付けて、閉じます。

続いて、デイリーメンテナンスを終了します。

長期間(24時間以上)使用しない場合



- 24時間以上使用しない場合:
本書記載の手順に従い、デイリーメンテナンスを行ってから、スリープモードにしてください。
- 2週間以上使用しない場合:
「長期保存」を行ってください。
 取扱説明書「長期保存と初期充てん」

<長期間(24時間以上)使用しない場合に行なっていただくメンテナンス>

1週間に1度、以下の手入れを行なってください。

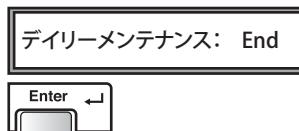
- インクパックをかくはんする。
- スリープモードを解除する。(プリンターが微量充てんを自動的に行います。)
- ノズルチェックを行い、プリントヘッドに目詰まりがないことを確認する。
- 本書記載の手順に従い、デイリーメンテナンスを行ってから、スリープモードにする。

5. デイリーメンテナンスを終了する

1

操作パネルの[Enter]キーを押します。

- ・キャリッジが元の位置に移動します。
- ・プリンターがスリープモードに移行します。

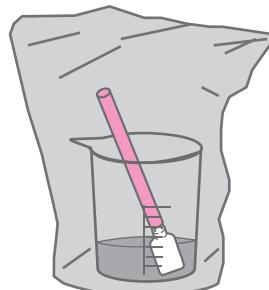


2

- ・クリーンスティックを専用メンテナンス液に浸して保管します。
- ・スポットに付着した専用メンテナンス液を、ペーパータオルで拭きます。
- ・デイリーメンテナンスを終了します。



- ・専用メンテナンス液に、ホコリが入らないようにビニール袋、ラップ等で覆って保管してください。
- ・専用メンテナンス液は、ボトルのふたをしっかりと閉めて保管してください。



Note

メンテナンス用品のご購入は、お買い求めのMUTOH製品取扱店、またはMUTOH各営業所にお問い合わせください。

品名	型番	販売単位
専用メンテナンス液	MP31-CL1000B	1
ポリニットワイパー	PJ-POLYNITW	300
クリーンスティック	RH2クリーンスティック	100

MUTOH

VJ-1627MH Daily Maintenance Sheet

MUTOH
Creation, we make it happen...

Daily maintenance

When to perform maintenance:

- At the end of the working day (Be sure to perform the following maintenance)

Required Items:

- (a) Dedicated maintenance cleaner
- (b) Plastic cup for cleaning stick
- (c) Cleaning stick
- (d) Paper towel or Polyester knit wiper
- (e) Plastic cup for dropper
- (f) Dropper
- (g) Plastic gloves
- (h) Plastic zipper bag
- (i) Cleaning stick

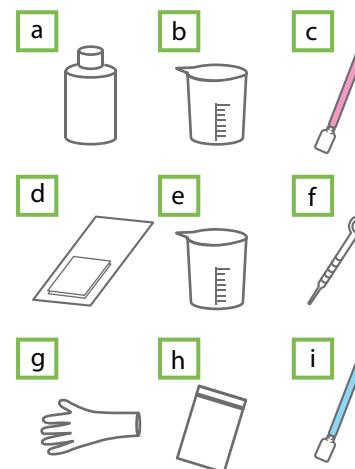
✖ Use a paper towel supplied with the printer or optional Polyester knit wiper. DO NOT use a tissue.

Lints or flakes on tissue may cause damage to the print head.

✖ DO NOT use non-dedicated maintenance cleaner.

Preparation:

- Wear the plastic gloves.



Important!

Plastic cup for dropper



- In this maintenance procedure, you will moisten some printer parts with maintenance cleaner using the dropper. If you cannot suck up maintenance cleaner directly from the maintenance cleaner bottle using the dropper, use one of the plastic cup to pour the cleaner.
- If the maintenance cleaner still remains in the plastic cup, put a plastic bag or wrap over the cup to keep out dust.

✖ When you drop maintenance cleaner onto printer parts using the dropper, do NOT use the maintenance cleaner in the plastic cup that the cleaning stick is submerged.

1. Put the printer into maintenance state

1

Put the printer into Sleep Mode.

☞ Operation Manual "Sleep Mode"

- When [Daily Maint.: Start] appears on the operation panel, press the [Enter] key.

Daily Maint.: Start



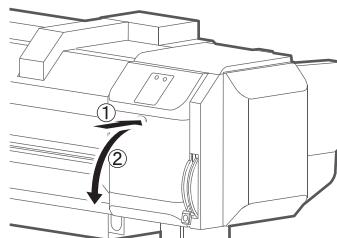
2

The carriage will move to the left side of the printer.

- When [Daily Maint.: End] appears on the operation panel, open maintenance cover on the right side of the printer and remove it.
- You can start the daily maintenance with following steps.

✖ Make sure to complete this maintenance within 5 minutes while the printer is in maintenance state. If it takes longer, the stick can dry causing damage to the print head.

Daily Maint.: End



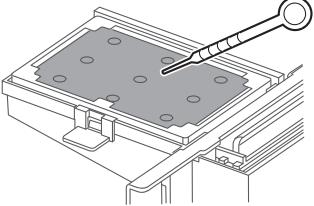
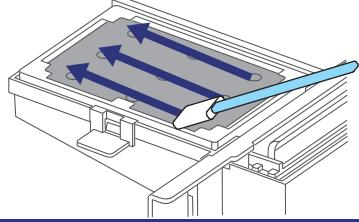
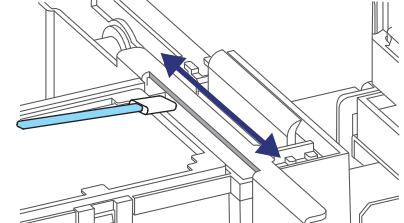
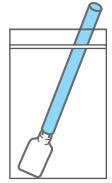
Important!

Maintenance Precautions

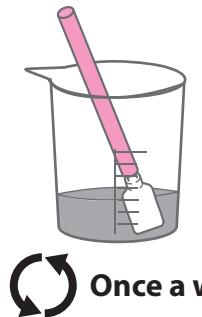
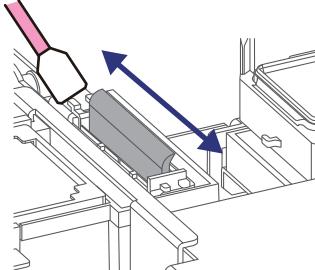
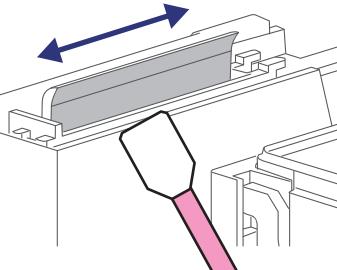
When performing daily maintenance, check the points below:

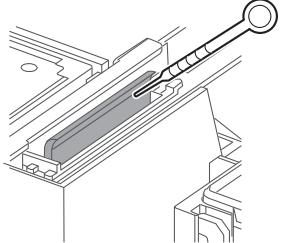
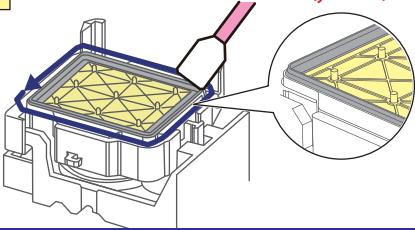
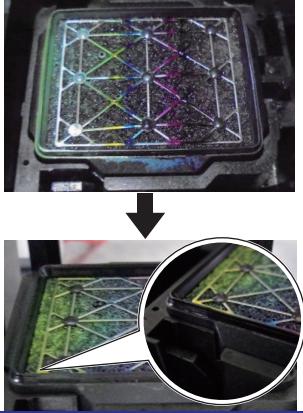
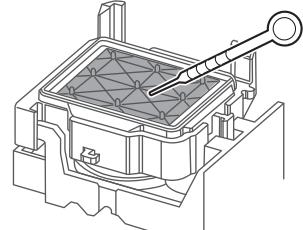
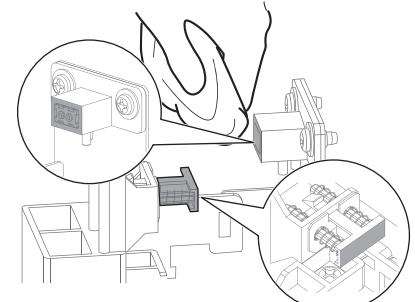
- Do not touch the cleaning wiper and the capping unit with your hands. If oil from your hands gets on those parts, this cleaning may not be performed properly.
- Do not touch the print head surface with fingers or a cleaning stick. It can cause damage to the print head.
- Always use a cleaning stick dampened with the dedicated maintenance cleaner in the plastic cup. DO NOT use non-dedicated maintenance cleaner. It may cause nozzle clogging.
- DO NOT touch the tip of the cleaning sticks with your finger. If finger oil gets on the stick, it will damage the print head.

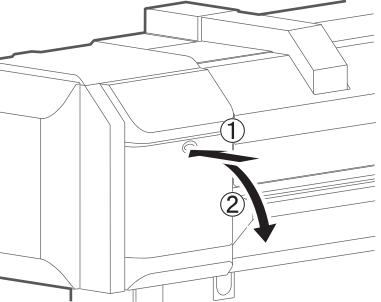
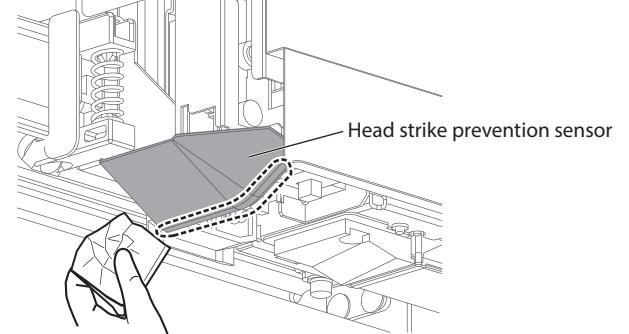
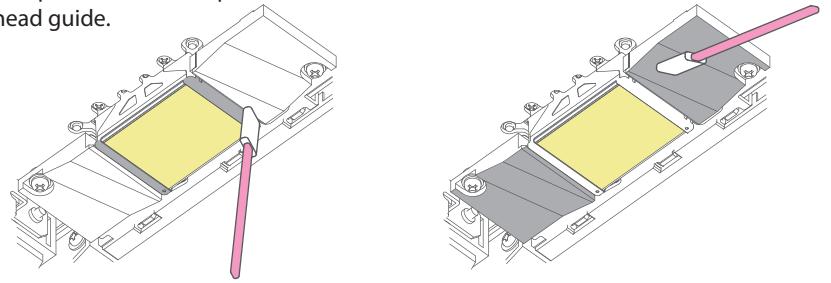
2. How to clean the flushing-box sponge

<p>1</p> <p>Use the dropper to moisten the flushing-box sponge with maintenance cleaner.</p> <p>Use about: 3.0 ml</p> <p>※Do NOT use the maintenance cleaner in the plastic cup that the cleaning stick is submerged.</p>	
<p>2</p> <p>Prepare a cleaning stick for cleaning the flushing-box sponge.</p> <p>Important! The cleaning stick can be used for 1 week. Change the cleaning stick once a week, or when the ink on the stick cannot be removed.</p>	
<p>3</p> <p>Use the cleaning stick to clean the whole area of sponge.</p>	
<p>4</p> <p>If you cannot remove ink clumps using the cleaning stick, replace the flushing-box sponge.</p>	
<p>5</p> <p>Clean off the ink on the left edge of the part, located between the flushing box and cleaning wiper.</p>	
<p>6</p> <p>After the cleaning is done, put the cleaning stick in the plastic zipper bag and close the zipper to store.</p> <p>Important! Make sure to close the zipper firmly to avoid dust in the bag.</p>	

3. How to clean the cleaning wiper and capping unit

<p>1</p> <p>Prepare another cleaning stick to clean the cleaning wiper and around the capping unit.</p> <ul style="list-style-type: none"> Pour 30 ml of dedicated maintenance cleaner into the plastic cup and dip the foam tip of the cleaning stick in it. <p>Important!</p> <ul style="list-style-type: none"> The cleaning stick submerged in the plastic cup can be used for 1 week. Change the cleaning stick once a week, or when the ink on the stick cannot be removed. Make sure to change the maintenance cleaner once a week. If the cleaning stick gets dirty while cleaning, submerge the foam tip of the stick into the maintenance cleaner in the cup. 	
<p>2</p> <p>Use the cleaning stick to clean the left side surface of the cleaning wiper (a black rubber part).</p> 	
<p>3</p> <p>Use the cleaning stick to clean the right side surface of the cleaning wiper including the resin part below.</p> 	

<p>4</p> <p>Use a dropper to moisten the cleaning wiper with maintenance cleaner.</p> <p>Use about: 5.0 ml</p> <p>※Do NOT use the maintenance cleaner in the plastic cup that the cleaning stick is submerged.</p>	
<p>5</p> <p>Use the cleaning stick to clean around the rubber part of the capping unit to remove the ink deposits and dust.</p> <p>Clean this part (grey)</p> <p>DO NOT touch the absorber (yellow)</p> 	
<p>6</p> <p>Use the dropper to moisten the absorber of the capping unit with maintenance cleaner.</p> <p>Use about: 1.5 ml</p> <p>※Do NOT use the maintenance cleaner in the plastic cup that the cleaning stick is submerged.</p>	
<p>7</p> <p>Moisten the paper towel with maintenance cleaner and clean the air valve surface to remove the ink deposits.</p> <p>※Wear plastic gloves to avoid contact with maintenance cleaner.</p>	
<p>8</p> <p>Attach maintenance cover on the right side of the printer and close it.</p> <p>Next clean surface around the print head.</p> <p>Important!</p> <p>If maintenance is likely to take more than 5 minutes, temporarily stop the process, perform a nozzle check to see if there are no nozzle missing,</p>	

<p>4. How to clean around the print head</p>	
<p>1</p> <p>Open maintenance cover on the left side of the printer and remove it.</p>	
<p>2</p> <p>Check if ink stains on the bottom of the sensor. If stains, use the paper towel moistened with a few drops of cleaning fluid and gently wipe off the ink on the sensor.</p> <p>※Wear plastic gloves to avoid contact with maintenance cleaner. ※To avoid damage to the sensor while cleaning, use the other hand to hold it to stabilize. ※While cleaning, do not apply too much pressure. It may damage the sensor.</p>	
<p>3</p> <p>Use the cleaning stick to remove the ink deposits or dust on the bottom of the carriage.</p> <p>Clean this part (grey)</p> <p>DO NOT touch the surface of a print head (yellow)</p> <p>Surface around print head (silver metal part)</p> <p>Print head guide (black plastic part)</p> <p>※Clean the part between the print head and print head guide.</p>	

4

Check that the area around the print head is clean.

**5**

Attach maintenance cover on the left side of the printer and close it.

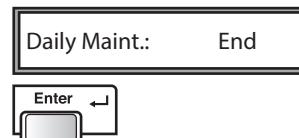
Next end the daily maintenance.

5. End the daily maintenance

1

Press the [Enter] key on the operation panel.

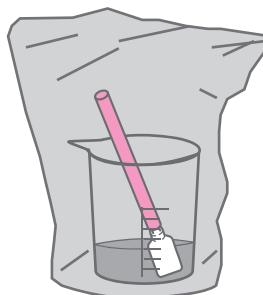
- The carriage moves to the original position.
- The printer automatically enters to sleep mode.

**2**

- Put the cleaning stick back in the maintenance cleaner in the cup to store.
- Clean off the maintenance cleaner from the dropper with paper towel.
- Now the daily maintenance is complete.



- Using plastic bag or wrap, put it over the maintenance cleaner in the cup to keep out dust.
- Check that the lid of the maintenance cleaner is shut properly and store it.



When not using the printer for long periods (longer than 24 hours)



- If you are not using the printer for longer than 24 hours:
Follow the instructions on this sheet to perform daily maintenance and then put the printer into sleep mode.

- If you are not using the printer for over 2 weeks:
Perform "Long Storage".

Operation manual "Long Storage and Initial Charge"

<Maintenance steps>

In any of above cases, follow the steps below to perform daily maintenance once a week.

- Invert the ink bags back and forth to agitate ink.
- Wake the printer from sleep mode.
(The printer will automatically perform "Little Charge")
- Perform a nozzle check to see if there are no nozzle missing.
- Follow the steps on this sheet to perform daily maintenance, and put the printer into sleep mode.



Note

Please contact your local Mutoh dealer or nearest Mutoh sales office for ordering maintenance parts.

Name	Part Number	Minimum q'ty per order
Dedicated Maintenance cleaner	MP31-CL1000B	1
Polyester knit wiper	PJ-POLYNITW	300
Clean stick	RH2 Clean stick	100

MUTOH

Czyszczenie, Konserwacja, Wymiana części eksploatacyjnych. Wymagania ogólne.

Niezależnie od informacji i zaleceń zawartych w powyższej instrukcji należy czyścić dane części (jeśli urządzenie je posiada) nie rzadziej, niż w podanej poniżej częstotliwości.

Ponadto należy codziennie przeprowadzać kontrolę zabrudzenia poszczególnych części i przeprowadzać ich czyszczenie jeśli ulegną zabrudzeniu.

Czyszczenie należy wykonywać specjalnymi płynami

Niezależnie od zaleceń powyższej instrukcji dotyczących częstotliwości czyszczenia lub wymiany poszczególnych elementów urządzenia, należy pamiętać, że druk na różnych podłożach oraz w różnych warunkach pracy może powodować potrzebę częstszego przeprowadzania czyszczenia, konserwacji lub wymiany części eksploatacyjnych. Należy zwracać szczególną uwagę na ogólny stan panujący w pomieszczeniu (temperatura i wilgotność) oraz jakość materiałów używanych w pracy z urządzeniem.

Nazwa części	Częstotliwość czyszczenia	Uwagi
Główica	Codziennie, po każdym dniu pracy	bez dotykania lustra głowicy podczas czyszczenia, specjalnym narzędziem
Wycieraczka	Codziennie, po każdym dniu pracy	specjalnym narzędziem
Uszczelka gumowa i kołnierz (ramka) wokół głowicy	Codziennie, po każdym dniu pracy	specjalnym narzędziem
Materiał, wkład absorpcyjny (gąbka, ciasteczko) - w stacji serwisowej (spluwaczce, płuczce)	Codziennie, po każdym dniu pracy	
Opróżnić zbiornik na zużyty atrament	Raz w tygodniu	lub częściej - opróżnić gdy jest pełny
Nóż odcinający (odcinacz)-	Raz w tygodniu	sprawdzić stan techniczny
Rolki dociskowe	Raz w tygodniu	czyszczenie środkiem bez silikonu
Rurki odprowadzające atrament	Raz w tygodniu	wizualnie i manualnie czy nie są zatkane
Urządzenie wewnętrz wraz z obudową	Raz w tygodniu	
Encoder	Raz w miesiącu	TYLKO ALKOHOL IZOPROPYLOWY LUB IPA, NA WYŁĄCZONYM PLOTERZE.
Czujniki optyczne	Raz w miesiącu	NA SUCHO LUB ZA POMOCĄ IPA. NA WYŁĄCZONYM PLOTERZE.
Lampa UV	Raz w miesiącu	specjalnym narzędziem
Pas transmisyjny	Raz w miesiącu	specjalnym płynem

Niektóre części wymagają okresowej wymiany.

Niezależnie od informacji i zaleceń zawartych w powyższej instrukcji należy wymieniać części eksploatacyjne (jeśli urządzenie je posiada) nie rzadziej niż w podanej poniżej częstotliwości.

Uwaga. Wymianę niektórych części winien przeprowadzić autoryzowany serwis (sprawdź kartę gwarancyjną lub instrukcję obsługi).

Nazwa części	Częstotliwość wymiany	Wymiana
Materiał, wkład absorpcyjny (gąbka) ciasteczko w stacji serwisowej (spluwaczce)	Co miesiąc	Użytkownik
Wycieraczka	Co 3 miesiące	Użytkownik lub Autoryzowany serwis gdy wycieraczka jest niewymienna.
Filtry (dampery)	Co 6 miesięcy - wcześniej w razie potrzeby	Autoryzowany serwis
Stacja serwisowa	Co 6 miesięcy – wcześniej w razie potrzeby	Autoryzowany serwis
Nóż odcinający (odcinacz)	Co 1 rok lub po stępieniu	Użytkownik
Pompy	Co 1 rok lub po zużyciu	Autoryzowany serwis
Lampa UV	Co 1 do 2 lat lub po zakończeniu czasu pracy	Autoryzowany serwis
Główica	Co 1 do 2 lat lub po zakończeniu czasu pracy	Autoryzowany serwis

Każde urządzenie winno wykonywać nie mniej niż 10m2 wydruków dziennie. Jeśli urządzenie nie jest komercyjnie używane, należy zalać głowicę, stację serwisową, rurki oraz filtry płynem czyszczącym.

Przeglądy urządzenia należy wykonywać w autoryzowanym serwisie nie rzadziej niż co 6 miesięcy.